



第3回石川県災害時交通マネジメント会議（能登半島地震）の 開催結果について

令和6年能登半島地震の被災地において、今後も復旧作業が続くことを踏まえ、本日、「石川県災害時交通マネジメント会議（能登半島地震）」を開催し、関係機関との情報共有のもと、周辺地区における円滑な人流・物流を確保するための交通マネジメントについて議論を行いましたので、結果を別紙1のとおりお知らせします。

（参考）第3回 石川県災害時交通マネジメント会議（能登半島地震）

1. 日時：令和6年3月15日（金）14:00～14:30
2. 場所：WEB開催（会場：金沢河川国道事務所）
3. 委員名簿：別紙2のとおり

会議資料は、北陸地方整備局ホームページで公表しています。

<https://www.hrr.mlit.go.jp/press/2023/3/240315dourobukaigi.pdf>

<記者発表先> 石川県政記者クラブ、石川県内専門紙

■問い合わせ

国土交通省 北陸地方整備局 電話：025-280-8880（代）

道路部 道路計画課 課長 きたで かずまさ 北出 一雅 （内線 4211）

第3回 石川県災害時交通マネジメント会議（能登半島地震） 結果概要

○能登地域周辺における最新の規制状況について、確認、共有した。

- ・3月15日5時、能越自動車道 高岡 IC～県境 PA 間の速度規制解除
⇒ 高岡 IC～七尾 IC 間の速度規制が全て解除（50km/h→70km/h）
- ・同日13時、のと里山海道 越の原 IC～穴水 IC（輪島方面）通行可
⇒ 能越自動車道・のと里山海道全区間で輪島方面への通行が可能
- ・同日13時、のと里山海道 柳田 IC～越の原 IC（穴水方向）の車両通行止め（緊急車両等のみ通行可）の交通規制を解除
⇒ のと里山海道が一般車両通行可能

○上記交通規制解除により、県警の現地体制を縮小するが、国道249号における手動による信号制御は継続することを確認した。

○一般ボランティアは一日あたり370名程度活動。現在、被災地への移動はシャトルバスにて行っているが、今後は自家用車での現地入りや奥能登地域に宿泊拠点を設けるなどによってボランティア活動を加速化していくことを確認した。

○公共交通の運行状況を一元的に提供する「能登半島地震地域公共交通情報提供ページ」※を開設。道路交通の負荷を軽減することが期待できるため、今後、自治体等の関係機関のホームページでリンクを貼るなど、公共交通の利用促進の広報を強化していくことを確認した。

※ <https://www.noto.k-cat.jp/>（のと公共交通情報研究会）

○現状で大きな交通混雑はみられないが、今後一般車両の増加が想定されることから、交通状況に応じて、引き続き関係機関が連携し必要な調整を図り、その時点で必要な対策を柔軟に検討・見直しを行いながら交通マネジメントを実施していく。

石川県災害時交通マネジメント会議（能登半島地震） 委員名簿

敬称略・順不同

公立小松大学 教授 高山 純一

金沢大学 人間社会研究域 教授 高橋 涼子

国土交通省 北陸地方整備局 道路部 道路計画課 課長

国土交通省 北陸地方整備局 道路部 地域道路課 課長

国土交通省 北陸地方整備局 道路部 道路管理課 課長

国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 副所長

国土交通省 北陸地方整備局 能登復興事務所 事務所長

国土交通省 北陸信越運輸局 石川運輸支局 支局長

石川県 土木部 道路建設課 課長

石川県 土木部 道路整備課 課長

石川県 警察本部 交通規制課 課長

輪島市役所 建設部 土木課 課長

珠洲市役所 環境建設課 課長

能登町役場 建設水道課 課長

穴水町役場 地域整備課 課長

公益社団法人 石川県バス協会 専務理事

一般社団法人 石川県トラック協会 専務理事

中日本高速道路株式会社 金沢支社 道路管制センター 交通管制課長

西日本旅客鉄道株式会社 金沢支社 地域共生室 企画課長

のと鉄道株式会社 常務取締役兼鉄道部長

I Rいしかわ鉄道株式会社 安全推進室長

自衛隊 中部方面隊第4施設団防衛班長

自衛隊 統合幕僚監部参事官付 主任

石川県県民ボランティアセンター 事務局長

一般社団法人 石川県タクシー協会 専務理事

※関係機関に要請し追加する場合もある